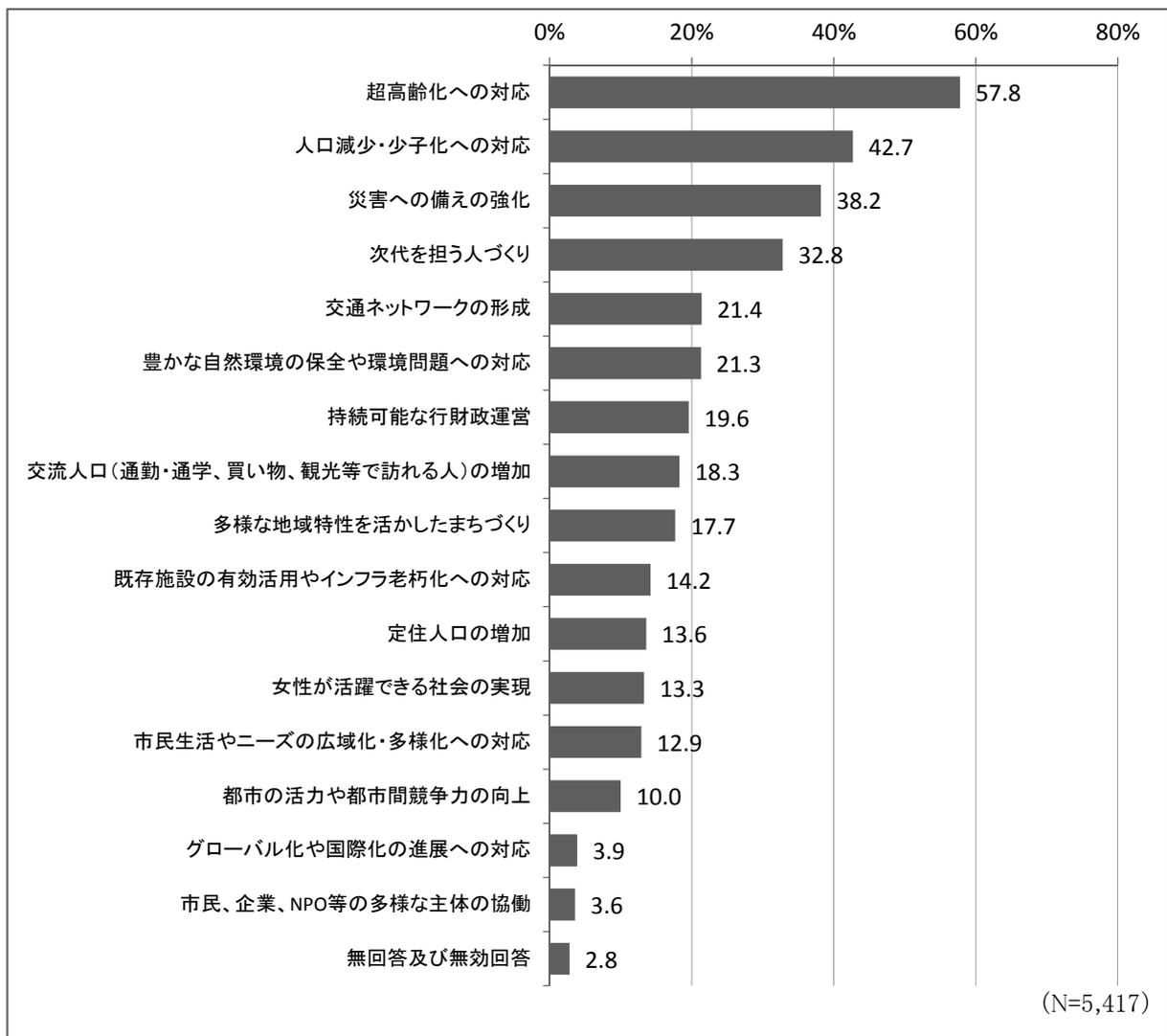


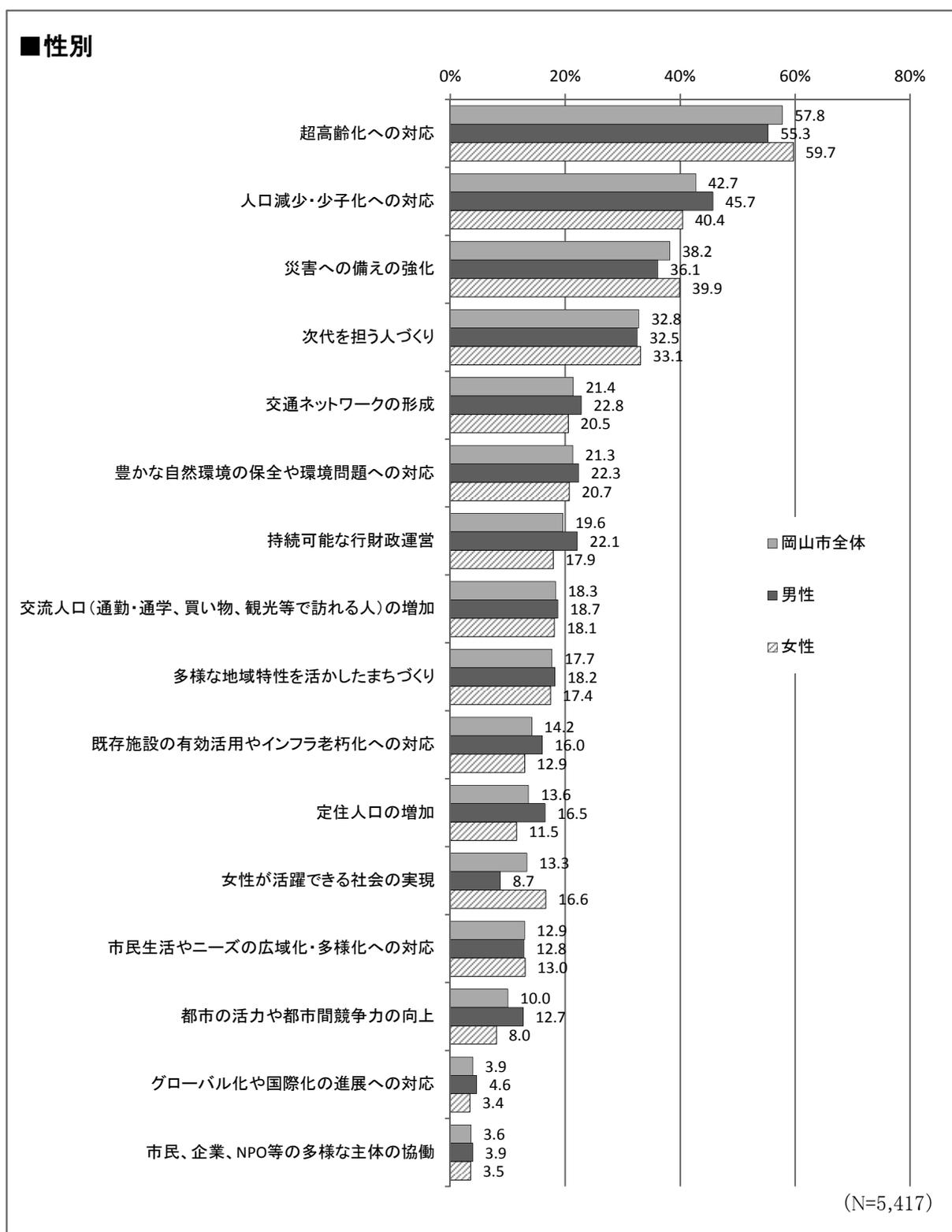
### 第3章 岡山市のまちづくりについて

岡山市では、将来を見据えた市政の羅針盤となる新たな総合計画の策定を進めており、平成27年度には、平成37年度を目標年度とした長期的なまちづくりの基本理念や将来像を示す「長期構想(仮称)」を策定することとしています。新たな総合計画を策定するうえでの参考とするため、市民の皆様のまちづくりへのご意見をお聞きます。

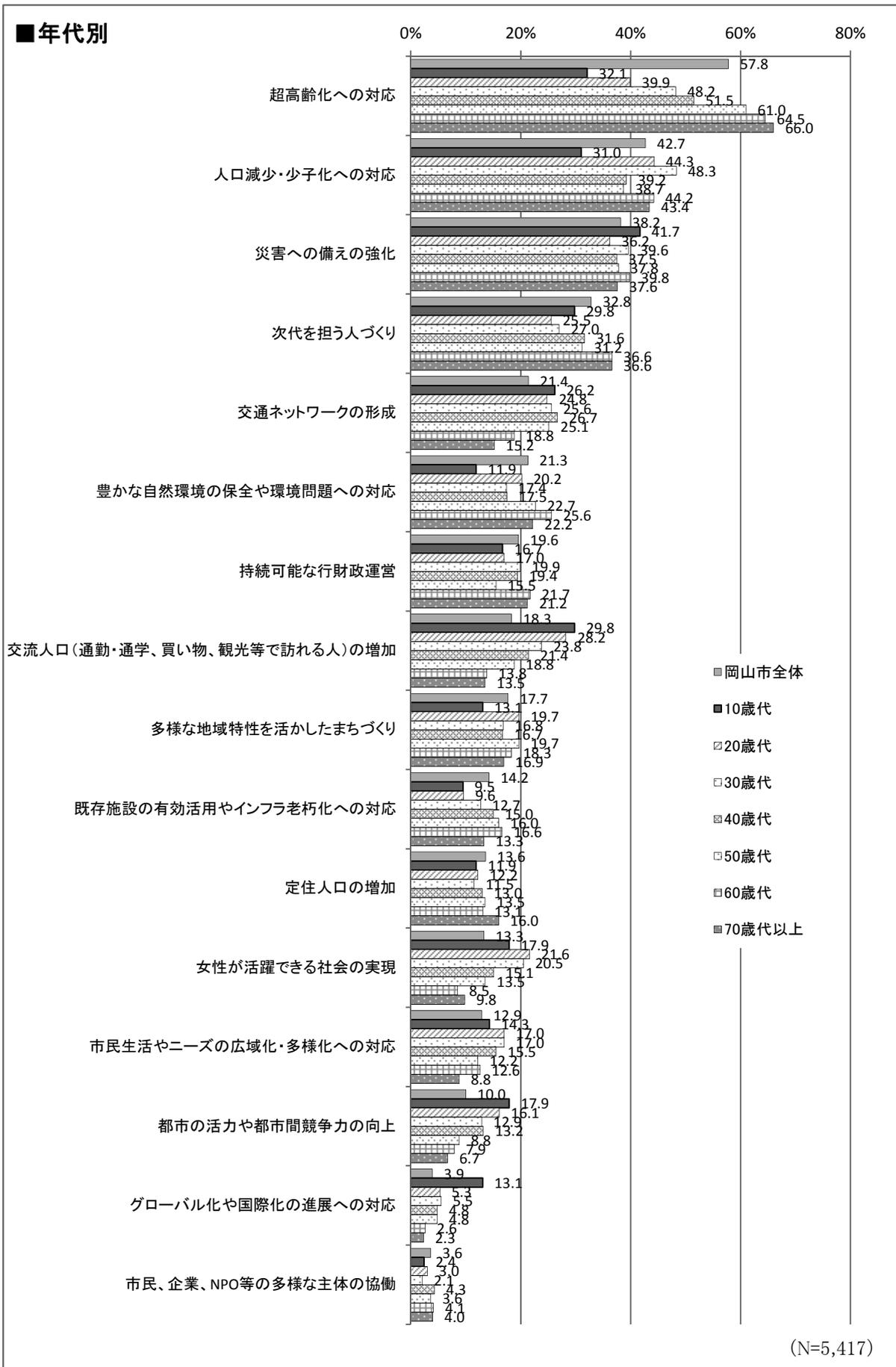
【問8】岡山市では今後どのような視点を大切にしまちづくりを進めるべきだと思いますか。  
(4つまで選択回答)



- ・「超高齢化への対応」と回答した人の割合が最も高く、全体の57.8%である。
- ・以下、「人口減少・少子化への対応」「災害への備えの強化」「次代を担う人づくり」が3割を超えて、相対的に高い割合となっている。

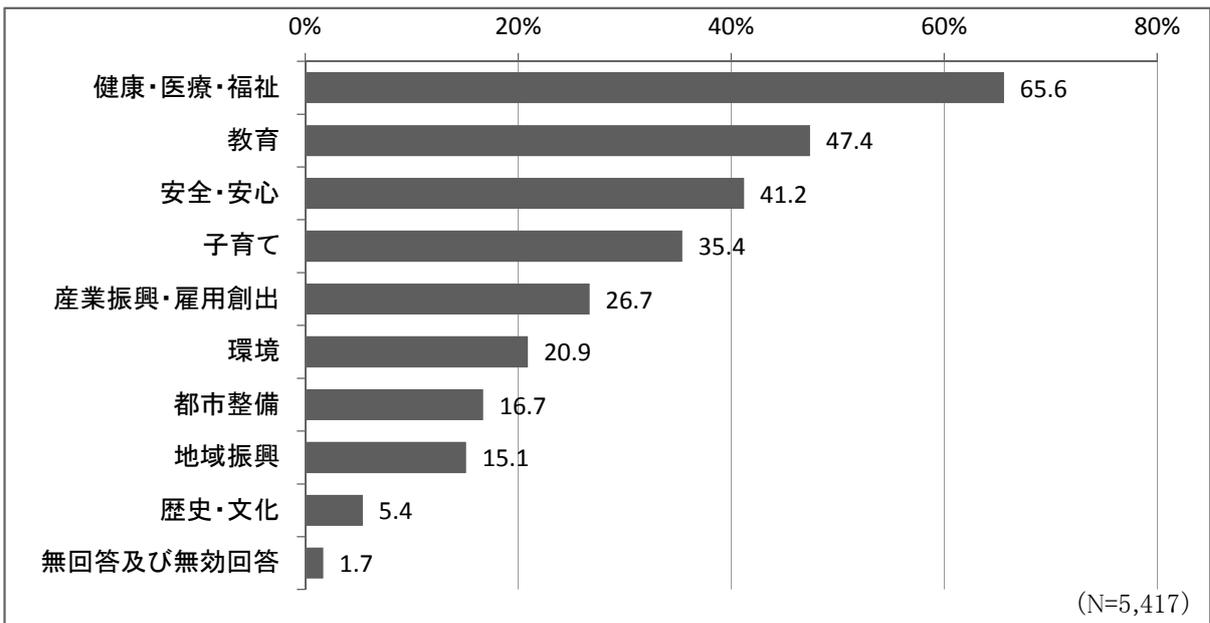


- ・性別で見ると、「超高齢化への対応」「災害への備えの強化」「次代を担う人づくり」「女性が活躍できる社会の実現」「市民生活やニーズの広域化・多様化への対応」の5つにおいて、男性より女性が回答した割合が高くなっている。
- ・特に、「女性が活躍できる社会の実現」においては、回答した人が女性16.6%、男性8.7%と、他の項目に比べてその差が大きくなっている。

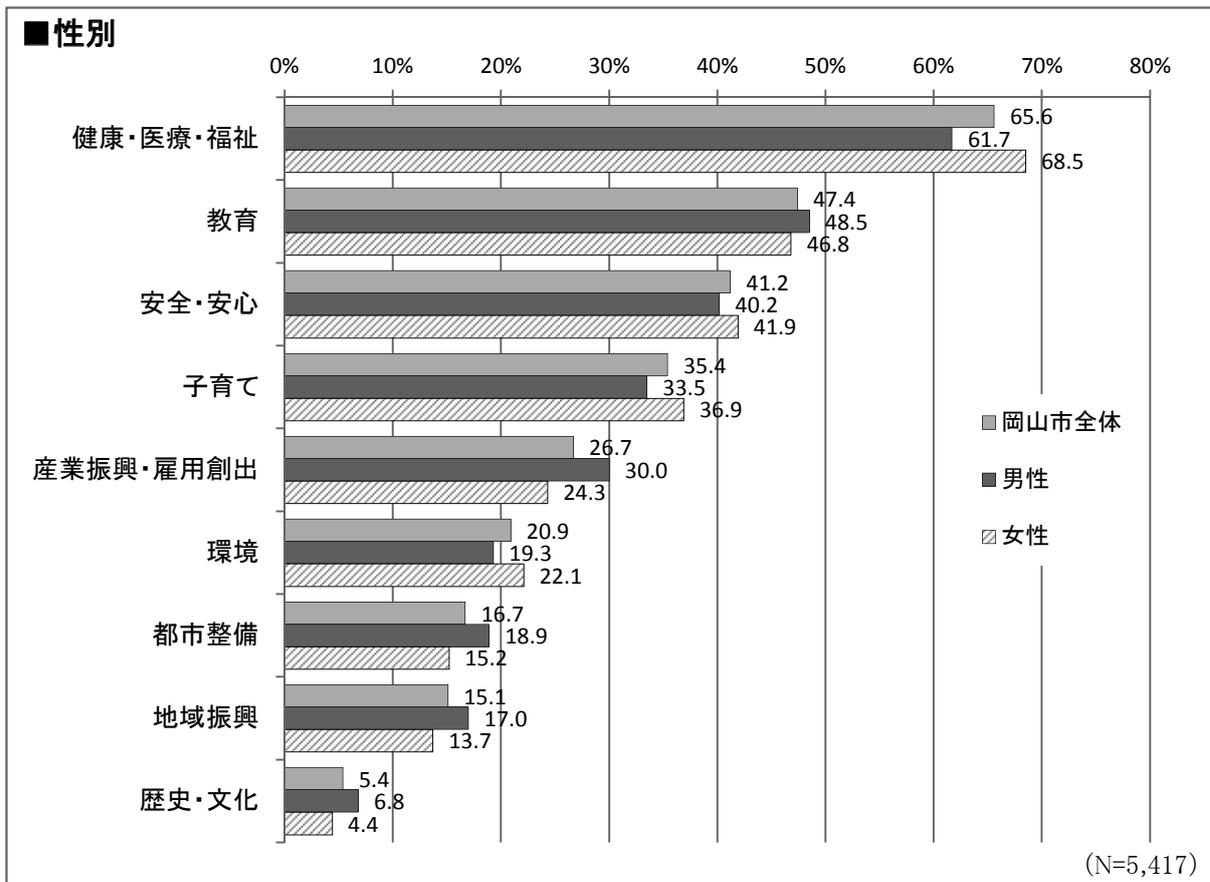


・「超高齢化への対応」は、40歳代以上での割合が第1位となっており、回答した割合が5割を超えている。回答した割合は、最も高い値が70歳代以上で66.0%、最も低い値が10歳代で32.1%となっており、その差は33.9ポイントである。

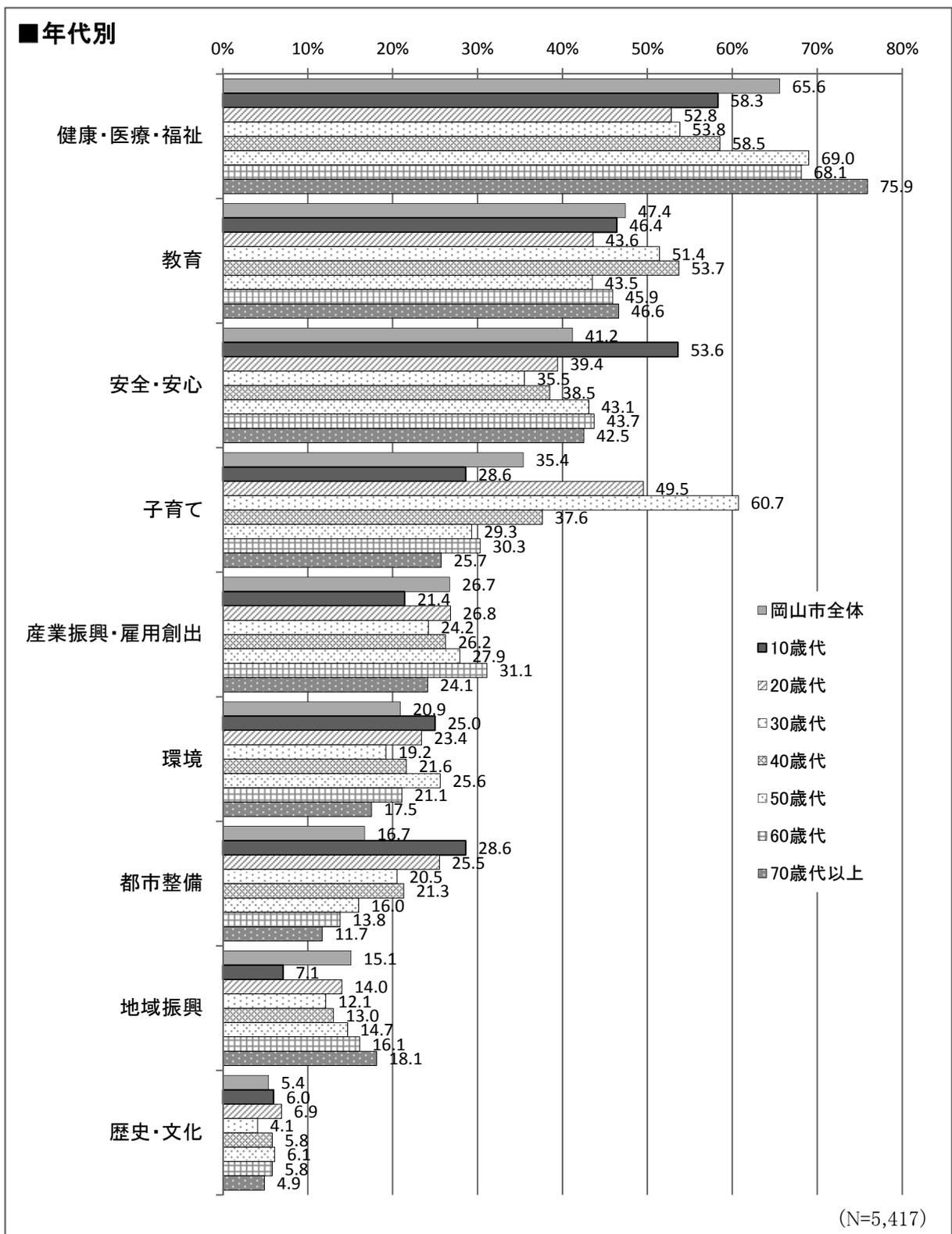
【問9】これからの市政の大きな方向性として、どんな分野に力を入れるべきだと思いますか。  
(3つまで選択回答)



・「健康・医療・福祉」と回答した人の割合が65.6%と最も高く、次いで「教育」47.4%、「安全・安心」41.2%と続いている。

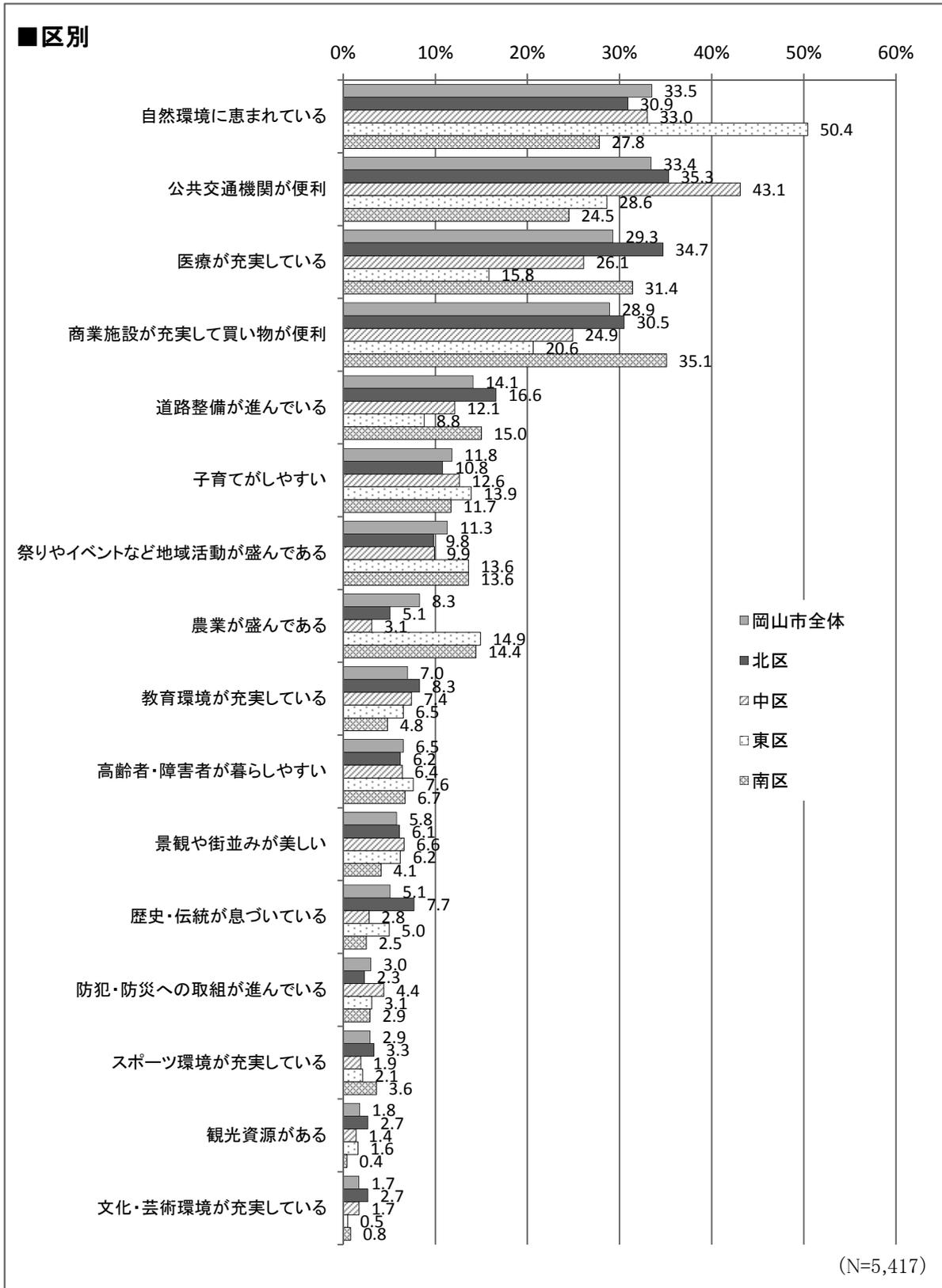


・「健康・医療・福祉」「安全・安心」「子育て」「環境」において、女性が回答した割合が男性よりも高くなっている。



- ・「健康・医療・福祉」と回答した割合は、全ての年代で5割を超えている。特に70歳代以上では、7割を超えている。
- ・「子育て」は、20歳代で49.5%、30歳代で60.7%と、高い割合となっている。

【問10】あなたがお住まいの地域の特色は何ですか。(3つまで選択回答)



- ・「自然環境に恵まれている」と回答した人の割合が33.5%と最も高く、次いで「公共交通機関が便利」33.4%、「医療が充実している」29.3%と続いている。
- ・「自然環境に恵まれている」では、東区の割合が50.4%と最も高くなっている。
- ・「公共交通機関が便利」では、中区の割合が43.1%と最も高くなっている。
- ・「医療が充実している」では、北区の割合が34.7%と最も高くなっている。
- ・「商業施設が充実して買い物が便利」では、南区の割合が35.1%と最も高くなっている。